



令和8年度 第3号
 発行日：R8.6.17
 発行元：高山小学校
 文責：校長 東 忠孝

入梅して十日が経ちました。五月末の暑さから一転して比較的過ごしやすい気温の日が続き、やや肌寒さを感じるくらいの日もありました。ニュースでは二年ぶりに「エルニーニョ現象」が発生していると報道されていますが、果たしてどんな梅雨、夏になるか心配です。

早いもので、一学期も残り一ヶ月となりました。それぞれの学年になっても随分時間が経ったように感じるくらい、落ち着いて様々な活動に取り組んでいます。今週から高山地区の小中学校で一緒に取り組む「生活シャツと週間」が始まります。昨年度の学校評価でもメディアの接触時間が本校の課題となりました。「元氣」な自分づくりのために、めあてを意識して取り組みましょう。



第四十三回 高山地区小学校連合運動会

五月三十日(土)、第四十三回高山地区小学校連合運動会が絶好のコンディションの中、多くの地域、保護者の方々にご声援いただき開催することができました。暑さ対策で例年より一週間早めたのですが、五月とは思えない強烈な日差しに体調を心配しましたが、スローガンのように、子どもたちの「こころ」の方が熱くもえていたようです。

今年度最初の大森小学校との集合学習がこの運動会に向けての練習でした。一年生にとっては初めての出会いであり、他の学年も進級して、一緒に学習するメンバーが変わっての活動でした。わずか三回しか時間がない中で、子ども

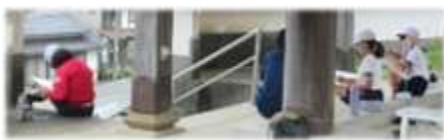
たちが主体となってアピールタイムの練習に取り組み、競技や応援に全力をかけた姿に感動しました。闘志を燃やし、歯を食いしばって走り、本気で喜び、悔しくて涙する姿など、素敵な表情をたくさん見ることができました。これからも「Don't give up!」の精神で、全力で取り組み、力を伸ばして欲しいと思います。

スケッチ会

六月四日(木)に三年生以上はスケッチ会に出かけました。中学年は石原建築様にお世話になり、機械やトラックなど重厚感を表現するものを被写体を選んで描きました。高学年は浄土寺様にお世話になり、遠近法を使ったり、細かい色使いが表現できたりする被写体を描きました。天候にも恵まれ、青空のもと、集中して取り組みました。完成までにはまだ、時間を要します。最後まで丁寧仕上げしてほしいと思います。

お話し会

今年度もお話し会の方が来てくださり、お話し会を実施することができます。ボランティアとして、大原愛子さん、金田郁也さん、桑原とも子さん、高村玲子さん、三室聡子さん、森脇靖さ



ん、安原和歌子さんの7名の方にお世話になります。季節や行事、おすすめのもの等、子どもたちの興味にあうものをご考へながら選書していただき、貴重な時間になっています。

低学年の学習の様子

☆みーもスクール

五月十四日に低学年の「みーもスクール」を開催しました。これは、森と触れ合うことをとおして、森の大切さを理解するとともに、郷土を愛する心を育むことをねらいとした活動です。今回はみどりの道の登り口で、「葉っぱの形クイズ」でいろんな形の葉っぱがあることを知り、その後集めた葉っぱを使ってスタンプをしました。自然のものをを使った作品は独特の味わいのあるものになりました。

☆野菜作り

低学年は、野菜作りを通して、収穫の喜びと管理の大切さについて理解し、生産者への感謝の気持ちを育みます。今年度も名人の坂本さんにお世話になりながら学習をします。トマト、ミニトマト、ピーマン、キュウリ、カボチャ、ナスビ、オクラ、サツマイモの八種類が順調に育っています。

中学年の学習の様子

☆イズモコバイモの学習

総合的な学習の時間に地元で生育する希少植物「イズモコバイモ」について学習しています。まずは、様々な疑問について自分達でタブレットや図書館で調べました。そして、六月十日には、県立三瓶自然館で学芸員として専門的な知識をお持ちの井上さんに来ていただき、植物の特徴や名前の由来等について、詳しく教えていただきました。



高学年の学習の様子

☆租税教室

高学年の社会科では公共のサービス等について学習していきます。それに関係するのが税金です。税金の仕組みや役割を理解するために、租税教室を行いました。島根県西部県民センター県央事務所納税課の方が来られ、分かりやすく教える出前授業です。一億円のレプリカ体験や、アニメ動画などを通じて、社会の支え合いについて学ぶことができました。

☆ギフチョウの学習

高学年では、総合的な学習の時間に何年も継続して環境学習として、高山地区に生息・生育する希少動植物のギフチョウ・ミヤコアオイの保護活動を行っています。まずは、知ることから始めるために、県立三瓶自然館副館長・井上さんと一緒にみどりの道の中に生育するミヤコアオイを観察しながら教えていただきました。

芸術家学校派遣事業

島根県文化事業課が、多感な子どもたちの創造力やコミュニケーション能力などの生きる力を育むことを目的として行っている事業で、本物の文化芸術に触れる活動を行いました。今回来校していただいたのは、サクソフロン演奏者の高橋陽香さん、ピアノ伴奏者の坂東沙耶香さんです。楽器の紹介、カエルの歌の輪唱と変奏曲、子どもたちがよく知っている名探偵コナンの曲やクラシック曲の演奏、最後はジブリのアニメメドレーを聴かせていただきました。間近で生の演奏を聴く貴重な時間となりました。

